

2014年2月号

特集：より深く，より細かく観察する高機能レーザー顕微鏡

非線形光学効果を用いた超解像レーザー顕微鏡は，2光子励起蛍光，2倍高調波，コヒーレント反ストークスラマン等を用いた手法が，フェムト秒レーザーの利用によって解像度以外の機能性も加わっている。とくに近年は生体のより深い部位を観測するための新しい光学手法が提案され成果を挙げている。

No.	タイトル	執筆者
1	特集のポイント	
2	侵達深さの記録に挑む2光子励起蛍光顕微鏡	北海道大学
3	2波長ビームの空間重なり変調を用いた低背景光2光子励起蛍光顕微鏡	理化学研究所
4	STED, 蛍光ディップ手法における高解像度実現の共通原理	東京工業大学
5	近接場顕微鏡以外の非線形光学を用いた高解像手法	大阪大学
6	近接場顕微鏡を用いたチップ増強ラマン計測	理化学研究所(仮)
7	位相変調による選択励起マルチカラー2光子励起蛍光顕微鏡	東京理科大学
8	2次元時空間レンズを用いた面内走査を必要としない2光子蛍光顕微鏡	慶応大学

※特集予定は都合により変更になる場合があります。詳細は営業担当にお尋ねください。

発行日：2014年1月27日

申込締切：2013年12月20日

原稿締切：2013年12月25日